

令和3年度日本植物病理学会関西部会プログラム

日 程 令和3年 9月21日(火)午前9時～午後5時
9月22日(水)午前9時～午後5時(質疑締切:12:00、応答締切:17:00)
(閲覧可能期間 9月21日(火)9:00～9月24日(金)23:59まで)

会 場 オンライン開催(ダイナコム)
オンライン会場の URL および接続情報は、部会開催の1週間前までに
参加者の皆様にお知らせ致します。

受 付 オンラインによる参加受付(締切:9月10日 17:00 開催当日の受付は行いません)
<https://va.apollon.nta.co.jp/kansaibukai/>

事務局 令和3年度日本植物病理学会関西部会開催地事務局
〒921-8836 石川県野々市市末松1-308
石川県立大学生物資源環境学部 TEL:076-227-7437
E-mail:kansaibukai2021@gmail.com

総 会 総会は開催しません(総会資料は開催期間中に講演ページに掲載します。)

シンポジウム(部会長講演)

部会長 児玉基一朗 氏(鳥取大学農学部 植物病理学研究室)
テーマ:「*Alternaria* 属菌における二次代謝産物生産に依存した病原性の進化」
(期間中、オンデマンド配信いたします)

一般講演

A 会場	B 会場	C 会場
A01～A04 菌類病 感染生理	B01～B04 細菌病 感染生理	C01～C04 防除薬剤・生物防除
A05～A08 菌類病 感染生理	B05～B08 細菌病 感染生理	C05～C08 防除薬剤・防除法
A09～A12 菌類病 発生生態	B09～B12 検出・診断、発生生態	C09～C12 防除法・発生生態
A13～A16 遺伝子解析	B13～B16 検出・診断、発生生態	C13～C16 生物防除・防除法
A17～A20 遺伝子解析	B17～B21 細菌病 感染生理	C17～C20 病原性評価
A21～A23 菌類病 感染生理	B22～B26 細菌病 感染生理	C21～C24 分類・同定

座長 小玉紗代 (摂南大学農学部) A01-A04

A01

病原菌に応答したベンサミアナタバコにおける SA および JA シグナルの時空間的動態

○吉岡美樹¹・荒川花子¹・西内沙希¹・鳴坂義弘²・鳴坂真理²・北川隆啓³・齊藤太香雄³・安達広明⁴・吉岡博文¹(¹名大院生農・²岡山生物研・³三洋化成工業(株)・⁴奈良先端大)

A02

メミノストロビンの抵抗性誘導作用に関する研究 7. シロイヌナズナにおける PTI および SAR 関連遺伝子の発現に対する影響

○伊藤千晶¹・小原七海²・佐藤穂高¹・市成光広³・山田 晶³・櫻本和生³・白石 慎³・山本 隆³・松井英讓^{1,2}・能年義輝^{1,2}・山本幹博^{1,2}・一瀬勇規^{1,2}・白石友紀⁴・豊田和弘^{1,2}(¹岡大院環生・²岡大農・³住商アグロ・⁴岡山生物研)

A03

シロイヌナズナの MAMP 誘導性免疫における細胞壁ペルオキシダーゼと NADPH オキシダーゼの関与

○木元菜々子¹・高須瑞穂¹・Aprilia Nur Fitrianti¹・松井英讓¹・能年義輝¹・山本幹博¹・一瀬勇規¹・白石友紀²・豊田和弘¹(¹岡大院環生・²岡山生物研)

A04

ベンサミアナタバコの NRC 免疫受容体ネットワークを負に制御する NLR の同定

○安達広明^{1,2}・堺俊之^{1,3}・Chih-hang Wu^{1,4}・Sophien Kamoun¹(¹セインズベリー研究所・²奈良先端大・³京大院農・⁴アカデミアシニカ)

座長 松井英讓 (岡山大学院) A05-A08

A05

イネいもち病菌接種後の日照条件はシロイヌナズナイネいもち病菌相互作用に影響を及ぼす
清水紗也佳・山内友里・○石川敦司(福井県立大学生物資源学部)

A06

いもち病菌の根への感染機構の解明(1)各種病原型菌株を接種したイネ科植物の反応特性

○向子愷・岡田大樹・中屋敷均・池田健一(神大院農)

A07

ヒストン修飾から見たイネ科植物いもち病菌のゲノム進化

○小林奈月・池田健一・中屋敷均(神戸大院)

A08

いもち病菌の病原性発現過程における糖代謝と脂質代謝のクロストーク

楊鈞皓・向子愷・中屋敷均・○池田健一(神大院農)

座長 中屋敷均（神戸大学大学院農学研究科）A09-A12

A09

キチンによりイネで全身的に誘導される病害抵抗性の発現メカニズムの解明

○高木桃子¹・保多盛啓¹・内藤圭吾²・松川すみれ²・江草真由美¹・西澤洋子³・菅野裕理⁴・瀬尾光範⁴・伊福伸介⁵・峯彰^{6,7}・上中弘典¹(¹鳥取大農・²鳥取大院農・³農研機構・⁴理研 CSRS・⁵鳥取大院工・⁶京都大院農・⁷JST さきがけ)

A10

イネいもち病菌の付着器形成に影響を与える微生物の2次代謝産物について

○釜田いぶき¹・井野真稔¹・木原淳一^{1,2}・新里尚也³・伊藤通浩³・上野誠^{1,2}(¹島根大院自然・²島根大生資・³琉球大熱生研)

A11

イネのキチン共受容体 OsCERK1 に依存した PUB44 のリン酸化修飾の解析

○中村春平¹・西尾優作¹・吉村智美¹・山口公志¹・川崎努^{1,2}(¹近畿大院農・²近畿大アグリ技研)

A12

イネ免疫応答における MAPK による PUB44 の制御機構

○堀百香¹・西尾優作¹・山口公志¹・吉村智美¹・川崎努^{1,2}(¹近畿大院農・²近畿大アグリ技研)

座長 上中弘典（鳥取大学農学部）A13-A16

A13

抗ウイルス RNA サイレンシングにおける *Nicotiana benthamiana* DCL 遺伝子の遺伝学的解析

○渡邊瑞輝¹・田原緑²・宮崎光洋¹・松本建人¹・福原敏行³・竹田篤史¹(¹立命大院生命・²立命大 R-GIRO・³農工大院農)

A14

ROS センサータンパク質の候補である GLR は植物免疫応答に関与する

○日野雄太¹・岡本溪太¹・稲田太一¹・吉岡美樹¹・森 仁志¹・吉岡博文(名大院生農)

A15

種々のファイトアレキシン処理により発現誘導される灰色かび病菌の ABC トランスポーター遺伝子 BcatrB の機能解析

○ブラサグ アブリエル¹・黒柳輝彦¹・鈴木孝征²・佐藤育男¹・千葉壮太郎¹・小鹿 一¹・竹本大吾¹(¹名大院生農・²中部大応生)

A16

キチンに応答した MAPKKK5 のダイマー形成の解析

○小森洗刀¹・吉村智美¹・川崎努^{1,2}・山口公志¹(¹近畿大院農・²近畿大アグリ技研)

座長 池田健一（神戸大学大学院農学研究科）A17-A20

A17

菌寄生菌 *Dicyma pulvinata* ゲノムおよびトランスクリプトーム解析

須志田浩稔^{1,2}・前田和弥³・幸田真梨子³・Much Z. Fanani³・○飯田祐一郎^{1,3}(¹農研機構・野菜花研,²農研機構・食品研,³摂南大農)

A18

菌寄生菌 *Dicyma pulvinata* と *Aspergillus* 属に保存された deoxyphomenone 生合成遺伝子クラスター
○前田和弥¹・住田卓也²・須志田浩稔³・Much Zaenal Fanani¹・幸田真梨子¹・中川博之⁴・飯田祐一郎¹
(¹ 摂南大農・² 滋賀県大環境・³ 農研機構食品研・⁴ 農研機構高度分析研究セ)

A19

CRISPR/Cas9 タンパク質を用いたタマネギ乾腐病菌の遺伝子破壊法の検討
○佐々木一紀・安部弥生・執行正義・伊藤真一(山口大農)

A20

牧草共生糸状菌および植物病原菌の擬似有性生殖を介したハイブリット菌株の作出の検討
○吉田真澄・三浦里佳・磯部仁美・佐藤育男・千葉壮太郎・竹本大吾(名大院生農)

座長 佐々木一紀 (山口大学農学部)A21-A24

A21

ウリ類炭疽病菌のウリ科作物への病原性に関するエフェクターEPC1 および EPC2 の同定および解析
○氏松蓮¹・井上喜博¹・Trinh Thi Phuong Vy¹・Suthitar Singkaravanit-Ogawa¹・西内巧²・峯彰¹・三瀬和之¹・高野義孝¹(¹ 京大院農・² 金沢大研究基盤)

A22

ウリ類炭疽病菌の脂肪族アルコールオキシダーゼ CorAlcOx とペルオキシダーゼ CorPerOx の付着器侵入への寄与
○小玉紗代¹・Bastien Bissaro²・西内巧³・Hayat Hage²・David Ribeaucourt^{2,4,5}・Mireille Haon²・Sacha Grisel²・A. Jalila Simaan⁴・Fred Beisson⁶・Stephanie M. Forget⁷・Harry Brumer⁷・Marie-Noëlle Rosso²・Richard O'Connell⁸・Michael Lafond⁴・久保康之¹・Jean-Guy Berrin²(¹ 摂南大農・² INRAE UMR BBF・³ 金沢大・⁴ Aix Marseille Univ. CNRS・⁵ V. Mane Fils・⁶ CEA CNRS・⁷ MSL Univ. of British Columbia・⁸ INRAE UMR BIOGER)

A23

MAMP 応答性リン酸化タンパク質 MARK2 はアブラナ科炭そ病菌に対する抵抗性に貢献する
○松井英謙^{1,3}・澁谷日奈¹・太田和輝¹・前田和輝²・晝間敬⁴・四井いずみ^{3,5}・玄康洙³・野村有子³・能年義輝¹・豊田和弘¹・一瀬勇規¹・中神弘史^{3,6}(¹ 岡山大院環生・² 岡山大農・³ 理研 CSRS・⁴ 東大院総合文化・⁵ 東京農大生命科・⁶ MPIPZ)

座長 木場章範 (高知大学農林海洋学部) B01-B02

B01

ブドウ根頭がんしゅ病拮抗細菌を用いた片利共生細菌のシロイヌナズナ根圏への定着能の解析

○包継源¹・松井英謙¹・山本幹博¹・一瀬勇規¹・豊田和弘¹・川口章²・能年義輝¹(¹岡山大学院環境生命・²農研機構西日本農研)

B02

Rhizobium vitis VAR03-1 株のブドウ根頭がんしゅ病拮抗能を司るテイロシン rhizovitin の機能解析

○土田菜月¹・石井智也²・渡邊恵²・齊藤晶²・包継源²・佐藤繭子³・豊岡公德³・石濱伸明³・白須賢³・豊田敦⁴・松原岳大⁵・松井英謙²・山本幹博²・一瀬勇規²・豊田和弘²・川口章⁶・能年義輝²(¹岡山大農・²岡山大学院環境生命・³理研 CSRS・⁴遺伝研・⁵岡山大バイオバンク・⁶農研機構西日本農研)

B03

CEP peptide suppresses innate immunity and promotes disease development in *Arabidopsis thaliana*

○Aprilia Nur Fitrianti¹・Chiaki Itoh¹・Haruka Hasegawa¹・Hidenori Matsui¹・Yoshiteru Noutoshi¹・Mikihiro Yamamoto¹・Yuki Ichinose¹・Tomonori Shiraiishi²・Kazuhiro Toyoda¹(¹Graduate School of Environmental and Life Science Okayama University・²RIBS Okayama)

B04

MAMP 応答性 Raf-like プロテインキナーゼ1(MRPK1)が介する植物免疫シグナルの解析

○藤山祐香¹・松井英謙^{1,2}・玄康洙¹・野村有子²・能年義輝²・豊田和弘²・一瀬勇規²・中神弘史^{2,3}(¹岡山大学院環生・²理研 CSRS・³MPIPZ)

座長 安達広明 (奈良先端科学技術大学院大学) B05-B08

B05

タバコ野火病菌 type III effector J が標的とする宿主因子の探索

○椋原沙知¹・西村隆史¹・中神弘史²・能年義輝¹・山本幹博¹・豊田和弘¹・一瀬勇規¹・松井英謙¹(¹岡山大学院環生・²MPIPZ)

B06

Functional analysis of aerotaxis transducer genes in *Pseudomonas syringae* pv. *tabaci* 6605

○Stephany Angelia Tumewu¹・Hidenori Matsui¹・Mikihiro Yamamoto¹・Yoshiteru Noutoshi¹・Kazuhiro Toyoda¹・Yuki Ichinose¹(¹Graduate School of Environmental and Life Science・Okayama University)

B07

Role of trehalose synthesis in *Ralstonia solanacearum* species complex in inducing hypersensitive response on nonhost plant

Laili Nur¹・Mukaihara Takafumi²・Matsui Hidenori¹・Yamamoto Mikihiro¹・Noutoshi Yoshiteru¹・Toyoda Kazuhiro¹・Ichinose Yuki¹(¹Graduate School of Environmental and Life Science・Okayama University・²Research Institute for Biological Sciences (RIBS) Okayama)

B08

Nicotiana benthamiana 植物由来のホスホオリパーゼC3 はジャスモン酸、サリチル酸、活性酸素シグナルを介して過敏反応を負に制御する

○坂東卓弥¹・高里詩織¹・大西浩平²・曳地康史¹・木場章範¹(¹高知大農・²高知大総研セ)

座長 桐野菜美子（岡山県農林水産総合センター農業研究所） B09-B12

B09

モモせん孔細菌病の春型枝病斑が発生した一年枝の生育状況の調査結果

○堀川英則¹・伊藤涼太郎²・大橋博子¹・松崎聖史¹（¹愛知農総試・²ウォーターセル株式会社）

B10

長野県におけるレタスコルキール病の発生状況と PCR による罹病組織からの *Rhizorhapis suberifaciens* の検出

石山佳幸（長野野花試佐久支）

B11

RT-LAMP 法によるコムギ縞萎縮ウイルス検出手法の最適化および非特異反応の軽減

○恒川健太¹・森賢一郎¹・出原清士郎¹・鈴木良地¹・荒川みずほ¹・大木健広²・水上優子¹（¹愛知農総試・²農研機構北農研）

B12

カンキツトリステザウイルス遺伝子型の重複感染がヒュウガナツのステムピッチング程度に及ぼす影響

○富村健太¹・浜部直哉²（¹農研機構果茶研・²静岡農林技研伊豆農研セ）

座長 内橋嘉一（兵庫県立農林水産技術総合センター） B13-B16

B13

温湿度データを用いたナス黒枯病の発病予測技術の検討

○林 一沙¹・森寛祐香¹・下元祥史¹・菊井玄一郎²（¹高知農技セ・²農研機構農情研）

B14

岡山県における農作物生育障害診断による対策の指導が障害の発生経過に及ぼす効果

○桐野菜美子（岡山農研）

B15

サカキ葉に葉枯症状を引き起こす植物病原糸状菌の宿主範囲

○椎根敏弘・上野誠・木原淳一（島根大院自然）

B16

カギハイゴケ感染性 *Globisporangium* 属菌の北極域の一地点における 2006～2018 年の種構成と分離頻度の変動

○東條元昭¹・藤井菜摘¹・八木啓成¹・山下友紀¹・十倉克幸¹・貴田健一¹・箱田暁穂¹・María-Luz Herrero²・星野 保³・内田雅己⁴（¹大阪府大院・²ノルウェーバイオエコノミー研究所・³八戸工大・⁴国立極地研）

座長 石川敦司（福井県立大学） B17-B21

B17

OsNINJA1 相互作用タンパク質である OsFHA1 のイネ病害抵抗性における役割

○尾尻友実・柏原啓太・岡本祐季・五味剣二（香川大農）

B18

イネのジャスモン酸誘導性揮発性物質である β -cyclocitral を合成する遺伝子の同定

○武田彩・谷口しづく・五味剣二(香川大農)

B19

希少糖の植物への作用 (58): A6P 大量生産に向けたD-allose kinase の酵素学的諸性質の検討

○島村祐成・松平一志・江島早紀・森口晃希・加野彰人・佐藤正資・何森 健・望月 進・吉原明秀・市村和也・五味剣二・秋光和也(香川大農)

B20

イネ白葉枯病抵抗性における OsMED25 の役割

○鈴木豪¹・Nonawin Lucob-Agustin²・柏原啓太¹・藤井ゆみ¹・犬飼義明³・五味剣二¹(¹香川大農・²Philippine Rice Research Institute・³名古屋大農)

B21

Xanthomonas oryzae pv. *oryzae* の NtrC3 は *hrp* 遺伝子群の発現制御だけでなく、運動性およびセルラーゼやシデロフォアの生産に関与する

高岡麻紀・○伊川有美・中村保乃華・津下誠治(京都府大院生命環境)

座長 曳地康史(高知大学農林海洋科学部) B22-B26

B22

白葉枯病菌の iTAL エフェクターによる Xa1 抵抗性阻害機構の解析

○佐藤颯花¹・吉久采花¹・山口公志¹・吉村智美¹・川崎努^{1,2}(¹近畿大院農・²近畿大アグリ技研)

B23

イネ白葉枯病菌エフェクターXopZによる OsZIP3 を介したイネ免疫抑制機構の解析

○山田朋輝¹・山本剛大¹・山口公志¹・吉村智美¹・川崎努^{1,2}(¹近畿大院農・²近畿大アグリ技術革新研)

B24

イネ NB-LRR 型受容体 Xa1 に依存した白葉枯病抵抗性を活性化する2つの免疫誘導系

○吉久采花¹・佐藤颯花¹・清水元樹²・峯彰³・山口公志¹・吉村智美¹・川崎努^{1,4}(¹近畿大院農・²岩手生工研・³京大院農・⁴近畿大アグリ技研)

B25

イネ白葉枯病菌の TAL エフェクターXoo1996 を介した感染機構の解析

○小川隼平¹・吉久采花¹・吉村智美¹・山口公志¹・津下誠治²・川崎努^{1,3}(¹近畿大院・²京都府立大・³近畿大アグリ技研)

B26

イネ白葉枯病菌の TAL エフェクターによる宿主遺伝子の転写誘導機構

○平野晏奈¹・山口公志¹・吉村智美¹・川崎努^{1,2}(¹近畿大院農・²近畿大アグリ技研)

座長 飯田祐一郎 (摂南大学農学部) C01-C04

C01

奈良県におけるキク黒斑病の発生状況と各種殺菌剤の防除効果

○浅野峻介¹・勝真雅大¹・平山喜彦^{1,2}(¹奈良農研セ・²現龍谷大農)

C02

イチゴうどんこ病の発病程度別のボーベリアバシアーナ乳剤(ボタニガード ES®)の防除効果

○勝真雅大¹・浅野峻介¹・窪田昌春²・山中 聡³・平山喜彦^{1,4}(¹奈良農研セ・²農研機構・³アリスタライフサイエンス株式会社・⁴現龍谷大農)

C03

栽培初期の薬剤散布によるナスフザリウム立枯病の防除

○山崎淳紀・下元祥史(高知農技セ)

C04

かび毒デオキシニバレノール分解細菌はコムギ赤かび病の発症抑制効果を示す

○森村洋行¹・伊藤通浩²・對馬誠也³・千葉壮太郎¹・竹本大吾¹・川北一人¹・佐藤育男¹(¹名大院生農・²琉大熱帯生物圏研究センター・³東農大生命科学部)

座長 西村文宏 (香川県農業試験場) C05-C08

C05

新たな農資源ゲットウを利用した新規抗植物ウイルス剤の開発

○鳴坂真理¹・畑中唯史¹・山次康幸²・鳴坂義弘¹(¹岡山生物研・²東大院農)

C06

ナノ粒子を用いた新規抵抗性誘導剤の開発

○鳴坂義弘¹・飛永恭兵²・山口賢人²・北川隆啓²・斉藤太香雄²・吉岡美樹³・吉岡博文³・鳴坂真理¹(¹岡山生物研・²三洋化成工業(株)・³名大院生農)

C07

岡山県における多剤耐性トマト灰色かび病菌に対する有効薬剤の選抜

○矢尾幸世・金谷寛子・桐野菜美子(岡山農研)

C08

コムギいもち病菌に対するベノミルの抑制効果

○内橋 嘉一¹・池田 健一²・奥田 樹³・川口 藍乃¹・松本 純一¹・足助 聡一郎²・神頭 武嗣¹・土佐 幸雄²(兵庫農技総セ¹・神大院農²・神大農³)

座長 浅野峻介 (奈良県農業研究開発センター) C09-C12

C09

環境センサ測定位置は環境制御によるトマト葉かび病抑制に影響する

○池田恭子・米山仰・伴明信・上山博・鷺田治彦(株式会社オーガニック nico)

C10

温度, 乾湿条件と各種薬剤がオリーブ Peacock leaf spot 病菌 *Venturia oleaginea* の分生子発芽に及ぼす影響

○氏家章雄・津田祥子・楠幹生・小野壮一郎・前田京子・溝渕三必・川西健児(香川農試病害虫防除所)

C11

ニンニク白絹病の効率的な防除対策の検討

○佐野有季子・西村文宏(香川農試)

C12

Alternaria brassicicola の nit 変異菌株の作製とその性状

○西村文宏¹・森脇丈治²・池田健一³・森充隆⁴(¹香農試・²九沖農・³神戸大院農・⁴香川県農業経営課)

座長 能年義輝(岡山大学大学院環境生命科学科) C13-C16

C13

シイタケ由来揮発性物質の各種植物病原菌に対する抗菌活性

○宮地大輔(鳥取大農)

C14

シイタケ廃菌床由来揮発性物質 3-オクタノンによる植物病害抑制作用

○武藤悠¹・福島えみ²・石原亨³・大崎久美子³(¹鳥取大院持続性社会・²日本きのこセ菌茸研・³鳥取大農)

C15

沖縄県内サトウキビ圃場から分離された細菌株の各種植物病原菌に対する阻害活性

○福井瑛士¹・伊藤通浩²・新里尚也²・伊禮 信³・長谷川 優⁴・有江 力⁵・木戸一孝⁶・児玉基一郎⁷(¹鳥取大院・²琉球大熱生研・³沖縄農研セ・⁴鳥取農試・⁵農工大院農・⁶鳥取大農 FSC・⁷鳥取大農)

C16

ナノファイバー化したカニ殻とエビ殻によりイネで全身的に誘導される病害抵抗性

田中水萌¹・高木桃子¹・森本康希²・伊福伸介²・○上中弘典¹(¹鳥取大農・²鳥取大院工)

座長 上野 誠(島根大学生物資源科学部) C17-C20

C17

ニホンナシ花粉採取用のナシ品種における黒斑病および黒星病に対する抵抗性評価

○佐竹洋樹¹・竹村圭弘²・大崎-岡久美子²(¹鳥取大院持続性社会・²鳥取大農)

C18

白紋羽病菌におけるウイルス伝搬能を獲得した変異株の細胞壁の特性評価

畑中郁穂¹・坂口耕太¹・兼松聡子²・中屋敷均¹・池田健一¹(¹神大院農・²農研機構果樹茶部門)

C19

日本に分布するウリ類炭疽病菌における病原力の多様性

○松尾宏樹¹・石賀康博²・久保康之³・吉岡洋輔²(¹筑波大院生命環境・²筑波大生命環境系・³摂南大農学)

C20

アブラナ科炭疽病菌に抵抗性を示す *Raphanus sativus* の選抜
田中里実・○高原浩之(石川県大)

座長 中嶋香織 (三重県農業研究所) C21-C24

C21

Botrytis cinerea によるマンゴー灰色かび病(新称)

○安次富 厚¹・山城麻希²・澤岨哲也¹・大城 篤³(¹沖縄農研セ・²沖縄中部農改・³沖縄農研セ名護)

C22

Pythium mastophorum によるパセリ根腐病(病原追加)

○楠 幹生¹・香川綾香²・日恵野綾香³・景山幸二³(¹香川農試病害虫防除所・²香川県農業経営課・³岐大流域研セ)

C23

Aspergillus tubingensis (Schober) Mosseray によるタマネギ黒かび病(病原菌追加)

○福間貴寿(島根農技セ)

C24

Botrytis cinerea によるシバザクラ灰色かび病(新称)の発生

○河原崎秀志・加藤孝太郎(農環健)